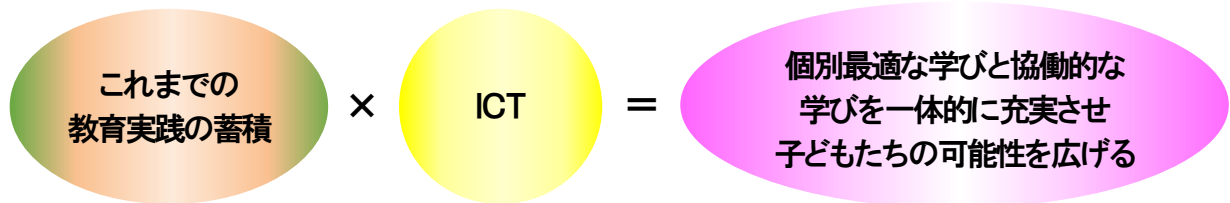


### Ⅲ ～広がる教室 深まる学び～

## 「やまぐちスマートスクール構想」の推進

県教委では、全国に先駆けて整備した県立学校のICT環境を効果的に活用して教育活動の一層の充実を図るため、「やまぐちデジタル改革基本方針」の「デジタル・魁プロジェクト」に『やまぐちスマートスクール構想』推進プロジェクトを位置付け、次の3つの視点の学校づくりを推進します。

### やまぐちスマートスクール構想



#### 1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

一人ひとりの教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や多様な意見に触れる協働学習を充実させ、「一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！」の実現をめざす。

- 1人1台タブレット端末等を活用した主体的な学びを実践！
- 統合型校務支援システムの導入100%！
- 全児童生徒へ一元化した情報配信！
- 即戦力となるデジタル人材を育成！
- 特別な支援を必要とする児童生徒の可能性を引き出すICT！
- 教員の情報活用能力を育成！

#### 2 海外・地域・他校とつながる学校！

海外の学校や遠隔地の学校等との交流を行うことで、新たな学びの機会を創出し、「海外・地域・他校とつながる学校！」の実現をめざす。

- 海外とのオンライン交流100%！
- 全県合同のハイレベル課外授業を実施！
- 資格取得のためのオンライン講座を実施！

#### 3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

障害や入院等で通学できない児童生徒の学びを保障する環境を充実させ、「安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！」の実現をめざす。

- 通学できない児童生徒向けオンライン授業100%！
- オンライン教育相談体制の継続！

# 1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校！

(単位：千円)

## 【】 やまぐちスマートスクール構想推進事業

175,743

全ての県立学校に導入した1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」を推進するため、デジタル人材の育成や教員のICT活用指導力向上に取り組めます。

### ■ ICT支援員の派遣

○教員の日常的なICTの活用をサポートするICT支援員を配置し、学校へ定期的に派遣

### ■ 「やまぐちスマートスクール運営支援センター」の設置

- 教員から電話やオンライン等で問い合わせを受け付けるヘルプデスクを設置
- ICT支援員をサポートするスタッフを配置し、必要に応じて学校現場に派遣
- 端末の故障対応や運用管理等をサポート

### ■ 教育データの活用推進

○生徒指導や教科指導等に活かせるアプリを開発

### ■ やまぐちICT活用コンテストの開催

- ICTの活用促進やスキル向上等を図るため、小・中・高校生を対象としたコンテストを開催
- コンテストに向けて、アイデアの創出や応募作品の洗練を行うワークショップを開催

[対 象] 公立・私立学校の児童生徒個人又はグループ

※小・中学生はデジタルアート部門を開催

[部 門] 学習コンテンツ：授業でのICT活用事例等のプレゼンテーション

デジタルアート：ICTを活用したアート作品

プログラミング：専門的なICT技術を

活用したプログラミング

DXチャレンジ：ICTを活用した社会変革

につながる新しいアイデア



### ■ 高校生データサイエンティスト育成講座の開催

○デジタル人材を育成するため、高校生を対象としたセミナーを開催

[対 象] 高校生

[内 容] 基礎講座：AI及びプログラミングの  
基礎知識を実践形式で学習

応用講座：前年度の基礎講座の修了者  
を対象とした発展的な講座



山口県学力定着状況確認問題をC B T（Computer Based Testing：コンピュータを使用した調査）で実施し、個別の学力の定着状況等の蓄積（学びの履歴）や、採点・集計業務の効率化を進め、児童生徒の学力定着状況に応じた指導や授業の充実を図ります。

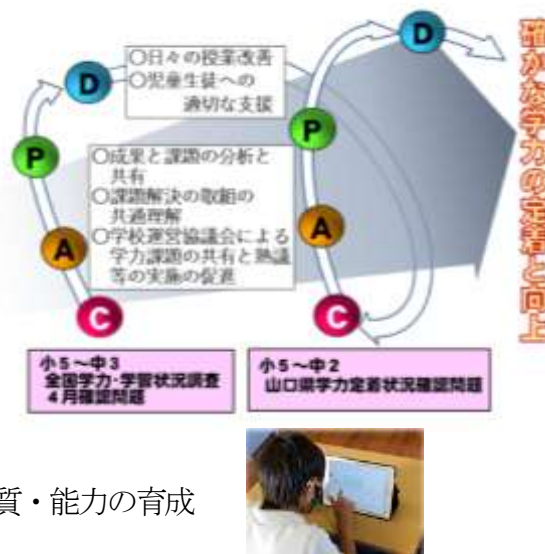
■山口県学力定着状況確認問題のC B T化

○学力定着状況に応じた指導等の充実

- ・個別の学力の定着状況及び児童生徒質問紙調査の結果を蓄積したデータ（学びの履歴）の利活用
- ・採点、集計業務の効率化による結果の早期通知
- ・結果の早期通知を活かした迅速な分析、指導改善の取組への反映
- ・全国学力・学習状況調査のC B T化への対応

○児童生徒のI C T利活用の推進

- ・1人1台端末の「普段づかい」の促進
  - ・1人1台端末を活用した授業の促進
- ⇒児童生徒のデジタル読解力及び情報活用能力等の資質・能力の育成



I C Tを活用した新たな学び推進事業

15, 061

Society5.0時代に求められる資質能力を備えた児童生徒を育成するため、県が開発した「やまぐち発の教育プログラム」を活用した探究的な学びが各学校で実践できるよう、研修を通して、教員への普及を図ります。

**やまぐち教育先導研究室**  
 (Yamaguchi Education Leading Laboratory)  
 通称：YELL（エール）

Society5.0時代などの新たな時代を見据えた最先端の教育を研究し、本県の教育を先導していくシンクタンク



■教育プログラムを活用した「新たな学び」の推進（まなびで“きびる”プロジェクト）

民間コーディネーターとYELLが協働で研究開発したI C Tを積極的に活用した「新たな学び」を学校で展開するための教育プログラムに関する研修を実施し、学校における探究的な活動の質の向上を図る。



【プロジェクト・ロゴマーク】

■教育プログラムを活用した「新たな学び」の推進に向けた研修

○教育プログラムの普及拡大のための研修

教育プログラムの全県普及に向けて、小学校・中学校の教員を対象に体験型研修会を実施

○「新たな学び」を推進するリーダーを育成するための研修

県立高等学校において課題解決型学習（PBL）などの探究的な学びを推進するリーダーを育成し、各学校で教育プログラムの実施

○教育プログラムの校内研修サポート

教育プログラム活用方法について、課題を抱える学校・市町教委等への技術的サポートを行い、教育プログラムの普及促進



ICTを活用したオンライン講義



民間コーディネーターによる研修

■次世代型研修に対応した教員研修コンテンツ作成

教育プログラムの普及に向けて、児童生徒に教育プログラムを活用した課題解決型学習（PBL）を指導するために必要となるファシリテーション技術やI C T活用に関する研修コンテンツを作成し、ウェブサイト上で配付して、各学校の校内研修で活用する。

全県共通の「統合型校務支援システム」を全ての県立学校へ導入して、出欠管理や成績処理等の校務の効率化を進めます。

■県立学校への統合型校務支援システムの導入・運用

- 生徒の基本情報、出欠管理、成績管理(定期考査、通知表等)のデータを一元管理
- R4年度は総合支援学校への導入準備を行い、全県立学校へ拡大



新 総合支援学校VR活用事業

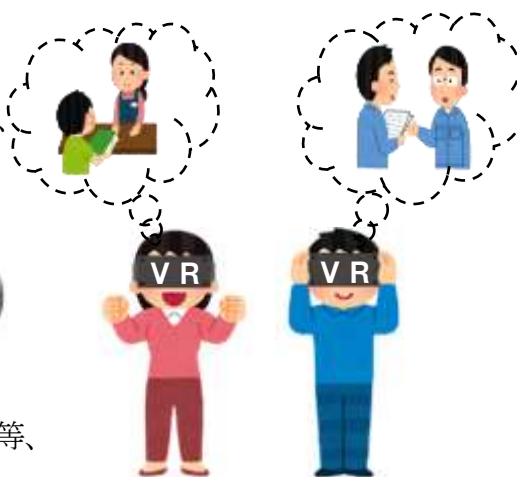
先進的な技術の導入により、総合支援学校の児童生徒一人ひとりの障害の状態に応じた個別最適な学びの実現と、児童生徒の「自立と社会参加」を促進します。

■学術機関、職場実習受入先等と連携し、社会体験学習に資するオリジナルVR動画を作成

- 校外学習・職場体験用のオリジナルVR動画を作成し、体験的な事前・事後学習を実施

<作成するVR動画の例>

- ・公共交通機関の利用体験
- ・公共施設の利用体験
- ・職場体験 等



■VRゴーグル等の機器を整備

学校の状況に応じて、VRゴーグル、動画作成用カメラ等、VR動画の作成・活用に必要な機器を整備

拓 遊び・運動大好き！体力向上推進事業（一部）

運動が苦手な子どもを含む全ての子どもに、できる喜びを味わわせていくための体育・保健体育授業の在り方について、ICTを効果的に活用した実践研究を行い、子どもの運動習慣の改善と体力向上を図ります。

■1人1台タブレット端末活用に向けたモデル事業の展開

- 「ICT体育推進校」によるICTを効果的に活用した実践研究
  - ・1人1台タブレット端末等を活用し、自分の動きを確認したり、動画を基に話し合ったりするなど、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業研究

■教職員を対象としたICTの効果的な活用の推進に向けた研修

- 体育科・保健体育科におけるICTの活用を充実させていくための研修を実施
  - ・ICTを活用した授業づくりに関する研修会や体育実技研修会の実施



## 2 海外・地域・他校とつながる学校！

(単位：千円)

### 【拓】 やまぐちスマートスクール構想推進事業【再掲】

175,743

1人1台タブレット端末等のICT環境を効果的に活用して、国際感覚の醸成や異文化への理解促進、英語のコミュニケーション能力の向上等を図るため、海外との遠隔授業等を推進します。

#### ■時間と空間を超えた遠隔授業等の推進

○県立学校と海外の学校等をつないだ遠隔授業等の実施を支援するコーディネーターを学校へ派遣

[対 象] 県立学校 15校程度/年

[内 容] 各学校の教育目標に合う交流先を紹介  
遠隔授業等の実施に向けた日程の調整や機材の準備、授業時のサポートを担当



### やまぐちで学ぶ！ 高校教育魅力向上事業

3,328

従来の学校における学びに加え、学校や学年にとらわれない多様な学びを提供することにより、これからの予測困難な社会の中で主体性をもって生きていく力を育成するとともに、本県高校教育の更なる魅力向上を図ります。

#### ■ニューフロンティアセミナー

○県内高校生が一堂に集まり、課題発見・課題解決学習を実施

[対 象] 県立高校生徒

[内 容] 「人口減少」や「地方創生」等をテーマとして大学教授等による講演、大学生とのディスカッションなどのセミナーを実施  
1人1台タブレット端末を活用し、大学教授によるオンライン講座の実施  
英語によるコミュニケーション力及びプレゼンテーション力の向上を図り、グローバルな視点をもった人材を育成する講座の実施

#### ■ドリカムゼミ

○大学の進学に必要なハイレベルな知識・技能を育成する全県合同の課外授業を実施

[対 象] 県立高校生徒

[内 容] テレビ会議システム及び1人1台タブレット端末を活用し、ハイレベルな講義・演習(国語・数学・英語)を実施



オンラインを活用した資格取得に向けた講座を実施し、学校の枠を越えた学びの場や学ぶ機会を創出します。

■資格取得のためのオンライン講座を実施

- 1人1台タブレット端末を活用して、複数校が同時に受講可能な資格取得に関するオンライン講座を実施
  - [内 容] 危険物取扱者、簿記、測量士補、フラワー装飾作業等
- デジタル化対応産業教育装置を活用した資格取得講座を実施
  - [内 容] 数値制御旋盤やマシニングセンタを活用した機械加工技能士の資格や、3Dプリンタやレーザー加工機等を活用したCAD検定等



実施校

- \* 県立高等学校(職業に関する学科・総合学科)
- \* 県立総合支援学校(就業実践科)

〇〇高校



講師

- ▽▽専門学校、(株)◇◇
- やまぐちマイスター 等

オンライン講座

(Web 会議システム)  
実施校より参加校へ  
配信

参加校

〇〇高校

△△商工高校

□□総合支援学校



やまぐちハイスクールブランド創出事業（一部）

技術革新に対応して、ICTの様々なツールを使いこなしながら、課題を見つけ解決し、新たな価値を創造する教育活動を展開します。

■オンラインを活用した探究的な学習活動の実践

- 起業に係るオンライン講座の実施

(講座例)

- ・外部講師によるデザインに関する講義
- ・高校生ブランドの確立に向けたワークショップ等

- 新たな商品開発に向け、連携企業や実施校間でのオンライン会議の実施

- デジタルコンテンツの制作

- SNS等を活用した情報発信（販売促進、考案したロゴマークの周知等）

- ネットショップの経営



### 3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校！

(単位：千円)

#### 教育ICT管理運営費（一部）

3,531

誰一人取り残すことのない個別最適な学びができるように、その基盤となるICT機器の提供を行います。

##### ■分身ロボット等の活用

- 障害や疾病等により通学が困難な児童生徒に学びの機会を保障するため分身ロボット等を活用



#### いじめ・不登校等対策強化事業（一部）

7,193

1人1台タブレット端末等の活用により、オンライン相談・カウンセリングを推進します。

##### ■相談・カウンセリングの推進

- 不登校等の理由で、学校で教員及びスクールカウンセラーに直接相談することが難しい児童生徒に対し、相談・カウンセリングをオンラインで実施
- 学校の臨時休業等により、教員及びスクールカウンセラーによる対面での相談・カウンセリングが難しい状況下においても、オンラインで実施

#### 国公立高校生奨学給付金事業（一部）

35,112

高等学校等に通う低所得世帯等の経済的負担の軽減を図るため、家庭でのオンライン学習に必要な通信費の一部を支給します。

##### ■高校生等奨学給付金

- [対象者] 道府県民税・市町村民税所得割額非課税世帯で国公立の高等学校（専攻科含む）、中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在学する生徒
- [支給対象] ICT端末の持ち帰り等への対応に伴う通信費（相当額を給付金単価に算入）
- [支給額] 14,000円/年

#### 奨学奨励費（一部）

19,265

特別支援学校に通う低所得世帯等の経済的負担の軽減を図るため、家庭でのオンライン学習に必要な通信費の一部を支給します。

##### ■特別支援教育就学奨励費負担金等（オンライン学習通信費）

- [対象者] 支弁区分I（低所得世帯等）の保護者等
- [支給対象] オンライン学習を実施した場合の保護者等が負担する通信費
- [支給額] 上限14,000円/年